

網住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコいい
おとな手帖



香川県 → 南相馬市

おとな手帖

No.01

漁港から伝わる 人の良さ・地域の魅力



今回のカッコいい大人

たいら か な こ
平 加奈子さん

広島県福山市生まれ

お仕事 平安丸 漁師

居住歴 2008年～

18歳

犬のブリーダー
として大阪府に
就職

20歳

地元に戻り、
動物病院で
看護師として
働く

23歳

香川県の
旅館に転職

28歳

結婚し、
南相馬へ



シラス漁のこの日は夫と義父が乗る家族の船「平安丸」を港で迎える



真野川漁港で漁師仲間とテキパキ働く平さん



平さんに Q & A 聞いてみた!



Q1. 南相馬の良いところは何ですか?

A. 移住者として感じたのは、人の温かさです。初めは、方言の影響で言葉のハードルがありましたが、だんだん慣れてきました。

網が船のプロペラに絡まったり、週に1回網の結い直しがあったりと、アクシデントとこまめな手入れの多い漁師という職業。だからこそ、人との関わりや協力する場面から人柄がよく伝わります。特に漁師の旦那さんを持つ奥さんは、みんな私の味方をしてくれるんです。相談に親身になってくれたり、ホームパーティーを開いてくれたりと、距離がすごく近いんですよ。

私は1人で移住してきた身ですが、そんななかでも自分からアクションを起こしていったので今があると思っています。積極的に関わろうとする気持ちを受け入れてくれる環境があるというのも良さだと感じますね。

Q2. 南相馬の漁港の魅力と、これからの夢を教えてください。

A. 今、漁をしている真野川漁港では、女性で船に乗るのは私だけですが、若い漁師さんが多いです。祖父と孫の関係で漁をしている船もあります。私も受け入れる側になってから、若い世代を歓迎する雰囲気が魅力だと感じるようになりました。

私は、漁港に人が来るきっかけを作りたいと思っています。漁港自体は少し町から離れたところにあるので、普段はなかなか足を運ぼうとは思わないかもしれません。でも、年数を重ねるにつれて感じるようになった漁港の良さをもっと知ってほしい。だから私の夢は、漁港で年に1度開催している祭りをもっと開催すること。海の近くで飲食店をやりたい気持ちもあります。近くの漁港でいえば、相馬原釜漁港が目標。魅力ある真野川漁港を、もっと盛り上げていきたいです。



わたしが記事にしました!



おおい もとほ
大井 紀葉
原町高校1年

編集後記



話を聞いていく上で、意外と知らなかった漁師という職業とその奥深さ、職業を通して感じる南相馬の良さが伝わってきました。いつも過ごしている自分の視点とは違った視点での南相馬を知れたと思います。お話が上手で素敵な方だったのですごく楽しかったです!



（ 皆さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく! ）

Webサイトの記事はこちら→



My favorite Minamisoma
南相馬のお気に入り

鳥崎海岸

Karasuzaki Kaigan

波の音はいいなあって
思います



鹿島区の焼肉店「丸長」によく行きます。家族の誕生日や子どもの部活の大会が終わった後など、義妹家族も誘って、みんなでワイワイするのが楽しいですね。家族と喧嘩をしてしまった時など、1人になりたいときは「鳥崎海岸」へ散歩にでかけます。市内の他の海岸に比べると人が少なくて落ち着くんです。地元の瀬戸内海はほとんど波がなかったので、波の音はいいなあって思うようになったのも南相馬にきてからですね。

ORINORI

移住者ってどんなひと？ 南相馬の カッコいい おとな手帖 って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくカッコよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。

彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。

「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前の環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる！

Publisher：南相馬市役所 移住定住課

Direction：marutt Inc.

Editor：小野民、蒔田志保、大井紀葉、藤木千尋

Designer：高木市之助

Photographer：鈴木宇宙

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Web サイトはこちら→

